



2021年7月14日
国立大学法人琉球大学
沖縄電力株式会社

国立大学法人琉球大学と沖縄電力株式会社との 産学連携に係る協定締結について

～持続可能な脱炭素社会の実現を目指して～

1. 産学連携協定の締結

国立大学法人琉球大学(学長:西田 睦、以下、琉球大学)と沖縄電力株式会社(代表取締役社長:本永 浩之、以下、沖縄電力)は、本日、「脱炭素社会の実現に向けた産学連携に係る協定」を締結いたしました。

本協定のもと、緊密な情報交換、産学連携活動の推進及び研究成果の地域社会への還元を通じて、SDGsの理念にも資する持続可能な脱炭素社会の実現を目指してまいります。

なお、本件は琉球大学にとっては初の脱炭素に関する連携協定、沖縄電力にとっては初の脱炭素に関する「学」との連携協定となります。

【産学連携協定の連携事項】

1. 持続可能な脱炭素社会の実現に関すること
2. 脱炭素の課題解決に資する新技術の創出に関すること
3. 脱炭素社会の実現に向けた教育の相互支援及び推進と人材育成に関すること
4. 再生可能エネルギー等の効率的な利用に関すること
5. その他、本協定の目的達成のために必要と認める事項

2. 今後の展開

本協定に基づき今後想定される実施内容は以下の通りとなります。具体的な内容は今後検討してまいります。第1弾として、琉球大学と沖縄電力共催の「脱炭素社会シンポジウム」を8月6日に開催する予定です。

- ① 脱炭素の課題解決に資する共同研究・共同事業などの企画立案・実施
- ② 共同研究・共同事業などの成果を地域社会へ還元
- ③ 琉球大学の学生のインターンシップ受け入れ
- ④ 沖縄電力からの外部講師の派遣、琉球大学におけるリカレント教育の実施
- ⑤ 脱炭素およびSDGsに関連する各種イベントへの相互参画

以上